安全データシート

作成日　2000年 3月22日
SDS No.1021-34091　改訂日　2020年 1月 7日 1/4頁

1　化学品及び会社情報

化学品の名称	：2,4-D
提供者名	：ジーエルサイエンス株式会社
住所	：東京都新宿区西新宿6-22-1　新宿スクエアタワー30F
電話番号	：03-5323-6611
FAX番号	：03-5323-6622
製品コード	：1021-34091
緊急連絡先	：ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課　電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.)	：1021-34091
推奨用途	：標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限	：試験・研究用

2　危険有害性の要約

GHS分類

：急性毒性(経口)	：	区分3
急性毒性(経皮)	：	区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：	区分1
皮膚感作性	：	区分1
発がん性	：	区分2
生殖毒性	：	区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	区分3(気道刺激性)
水生環境有害性(急性)	：	区分2
水生環境有害性(長期間)	：	区分2

GHSラベル要素　：

注意喚起語　：危険

危険有害性情報　：飲み込むと有毒
皮膚に接触すると有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

[応急措置]　：飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合:直ちに医師に連絡すること。多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:直ちに医師に連絡すること。水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の手当てを受けること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
漏洩物を回収すること。

[保管]　：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

[廃棄]　：内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

上記で記載がない危険有害性は分類できない、分類対象外または区分外。

3　組成及び成分情報

化学物質･混合物の区分	：化学物質
化学名(又は一般名)	：2,4-D
別名	：(2,4-Dichlorophenoxy)acetic acid、2,4-ジクロロフェノキシ酢酸、2,4-pA
含有量	：100%
化学式又は構造式	：$C_8H_6Cl_2O_3$
分子量	：221.04
官報公示整理番号	：3-927
CAS No.	：94-75-7
危険有害成分	：2,4-D

4　応急処置

吸入した場合	：新鮮な空気の所へ運び､安静保温に努め､具合が悪い場合は医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：石鹸と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当を受ける。
眼に入った場合	：直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。こすると眼球を傷つける恐れがあるのでこすらないこと。医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	：口をすすぎ、大量の水で薄めて、医師の手当てを受ける。可能であれば吐かせること。
ばく露した場合	：医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	：刺すような痛み、涙目、目の赤み、腫れ、かすみ目などの視力低下の症状が出る。皮膚刺激により、発赤や痛みの原因となる。
応急措置をする者の保護	：救助者は適切な保護具を着用すること。

5　火災時の措置

消火剤	：水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	：棒状水
火災時の特有危険有害性	：火災によって刺激性、もしくは有毒なヒューム(またはガス)を発生するおそれがある。消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特定の消火方法	：移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護	：消火活動の際は、適切な空気呼吸器と化学用保護衣を着用する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に､ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚や眼に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	：飛散した物は､密閉できる容器に回収する｡その後を多量の水を用いて洗い流す。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：眼、皮膚への接触を避ける。
安全取扱注意事項	：容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
衛生対策	：取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。

保管

適切な保管条件	：直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して施錠保管する。
技術的対策	：特になし
混触危険物質	：酸性物質、酸化剤
安全な容器包装材料	：ポリエチレン等(密閉できるもの)

8　暴露防止及び保護措置

設備対策	：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度 作業環境基準	：設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会	：設定されていない
ACGIH TLV	：10mgm/m^3
OSHA PEL	：10mgm/m^3

保護具

呼吸器用の保護具	：防塵マスク、自給式呼吸器、送気マスク等
手の保護具	：保護手袋
眼の保護具	：保護眼鏡、側板つき保護眼鏡(必要によりゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	：保護衣、保護長靴
適切な衛生対策	：マスク等の吸着剤の交換は定期的または使用の都度行う。 取扱い後はよく手を洗う。

9　物理的及び化学的性質

形状	：固体(結晶性固体)
色	：無色
臭い	：データなし
pH	：データなし
融点	：138℃
沸点	：160℃
引火点	：88.0℃
発火点	：データなし
爆発範囲	：データなし
蒸気圧	：0kPa(20℃)
密度	：1.42g/cm^3(推定)
比重	：1.42(25℃)
溶解性	：水の溶解度：0.5g/L
n-オクタノール／水分配係数	log Po/w ：2.8
自然発火温度	：180℃

１０　安定性及び反応性

安定性	：通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	：通常の条件下では反応する可能性はない。
避けるべき条件	：引火点以上の加熱、混触危険物質との接触
混触危険物質	：強酸化剤
危険有害な分解成分	：データなし

１１　有害性情報

急性毒性(経口)	：ラット LD50=275mg/kg
急性毒性(経皮)	：ウサギ LD50=1400mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：皮膚刺激の原因となる。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：重篤な眼の損傷の原因となる。
皮膚感作性	：アレルギー性皮膚反応の原因となる可能性がある。
生殖細胞変異原性	：データなし
発がん性	：IARCではグループ2Bに分類されており、ヒトの発がん性の可能性が示唆される。
生殖毒性	：生殖能又は胎児への障害が疑われる。
特定標的臓器毒性	：気道刺激性がある。反復的に吸入すると有毒である。
吸引性呼吸器有害性	：データなし

１２　環境影響情報

生態毒性	：甲殻類(ミジンコ) EC50=2.4～4.3mg/L/48h 魚類(Labeo boga) LC50=3.8mg/L/96h
残留性／分解性	：データなし
生体蓄積性	：データなし
オゾン層への影響	：本製品に含まれる成分はいずれもモントリオール議定書に列記されておらず、オゾン層破壊物質に該当しない。

１３　廃棄上の注意

残余廃棄物	：廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	：空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

１４　輸送上の注意

国連番号	：3077
品名	：環境有害物質(固体)(2,4-D)
国連分類	：クラス 9(有害性物質)
容器等級	：Ⅲ
海洋汚染物質	：該当
注意事項	：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

１５　適用法令

毒物及び劇物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：施行令 第18条の2 別表第9 名証棟を通知すべき危険物及び有害物 No.251
化学物質排出把握管理促進法	：第一種指定化学物質 No.175
化審法	：既存物質
消防法	：非該当
船舶安全法(危規則)	：有害性物質
航空法	：有害性物質

１６　その他の情報

引用文献等

独立行政法人　製品評価技術基盤機構　化学物質総合情報提供システム、有害性評価書
安全衛生情報センター
化学品安全管理データブック、化学工業日報社
16514の化学商品　化学工業日報社(2014)　他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお薦めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。